

施策評価シート(令和4年度実績評価)

◎施策の基本情報

政策No	0105	政策名	農工商観連携の推進	施策主管課	企業立地推進室	課長名	久保田 謙一
政策の目指す姿	多様な産業が連携し、高付加価値を創出しています						
施策No	03	施策名	企業誘致の推進	関係課名	商工労政課		
施策の目指す姿	多様な分野の多くの企業が立地しています						
現状と課題							
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県南地域における半導体・自動車産業の集積や運輸・物流企業の2024年問題に起因する物流拠点の整備の加速化が想定されることから、新たに関連企業を市内へ誘導する好機を迎えています。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の産業団地はほぼ完売しており、新たな産業団地の整備が求められています。</li> <li>・市内への誘致に向けた新規折衝企業の開拓のほか、関係企業や団体等への訪問を通じた積極的な情報収集が必要です。</li> </ul>							

◎前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体・自動車産業や運輸・物流業を含めた幅広い業種を市内に呼び込むために、企業訪問や優遇制度を活用した誘致活動を継続して進める。</li> <li>・実相寺・山の神地区への新たな産業団地の整備のほか、花巻第2工業団地や花巻第1工業団地テクノパークの5つの残区画の分譲を進めるとともに、「花巻市民間産業用地整備促進奨励事業補助金」の運用を通じた民間事業者による用地開発を並行して推進し、官民両面からの産業団地（用地）の整備を進める。</li> <li>・官民両面による産業団地（用地）の整備を通じ、用地不足の解消と新規企業・既立地企業の市内への設備投資の促進及び本市産業の活性化につなげる。</li> </ul>

反映状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体・自動車の関連企業779社に対し、アンケート調査を行ったところ、約1割の企業から回答があったが、その中でも立地の確度が高いと史料される14社へ電話で意向を調査した。また、花巻市企業立地促進奨励事業補助金の投資・雇用拡大タイプについて、雇用要件を50名から40名に緩和する要綱改正を実施し、県南地域で集積が進む半導体・自動車の関連企業の新規立地を促進する体制を整備した。</li> <li>・実相寺・山の神地区への新たな産業団地の整備に向けた比較検討の結果、A～Cの3工区中、中央部のB工区（約12ha）が最も整備に適していることから、当該工区の先行整備を決定し、用地購入や物件移転補償を進めたほか、埋蔵文化財発掘調査に向けた環境整備などを行った。加えて、実施設計の策定や地権者を対象とした住民説明会を2回開催し、本格的な整備を進めた。</li> <li>・民間事業者による開発を促進するため、開発後に市に帰属される道路や用水路、調整池などのインフラ整備に要する経費の1/2を補助する「花巻市民間産業用地整備促進奨励事業補助金」を創設し、本制度を活用したインフラ（施設）整備1件について、事業認定を行った。</li> </ul>
--

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1) 企業誘致の推進
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県南地域において集積が進む半導体・自動車関連産業のほか、2024年問題（トラックドライバーへの時間外労働の上限規制の適用に伴い、物流が滞るおそれがあること）を間近に控える運輸・物流企業等の市内への誘致に向けた多分野かつ多面的な企業情報の収集とフォローアップ</li> <li>・既立地企業への企業訪問のほか、半導体・自動車関連産業の関連企業や取引企業等に向けたアンケート調査や情報収集を実施したほか、信用調査機関による企業データを随時入手するなど、企業情報の収集に努めた。</li> <li>・経済情勢や企業ニーズに対応した支援制度の検討と当該制度を活用した企業立地誘導の実施</li> <li>・新規の企業立地や既立地企業の事業展開を支援するため、「花巻市企業立地促進奨励事業補助金」の一部について要件を緩和したほか、国や県の制度改正に伴う税制優遇などの諸制度の改正を行うとともに、これらの改正をアピールした企業誘致活動を展開した。</li> <li>・企業立地に適した空き工場や空き地の情報収集と発信の充実</li> <li>・市内の空き工場や空き地の情報を収集するとともに、専用ホームページ（「花巻市企業立地ガイド」）への掲載し、PRに努めた。</li> <li>・民間事業者による産業用地の開発の支援</li> <li>・民間事業者による用地開発を促進するため、開発後に市に帰属される道路や用水路、調整池などのインフラ整備に要する経費（補助率1/2、上限3億円）を支援する「花巻市民間産業用地整備促進奨励事業補助金」制定した。</li> <li>・各分野の展示会への出展による誘致PRと情報収集</li> <li>・コロナ禍による行動制限が緩和されたことから、首都圏での懇談会を3年ぶりに開催したほか、県外企業への企業訪問を延べ59回実施した。</li> </ul>
(2) 産業団地の整備
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな企業を呼び込むための産業団地の整備</li> <li>・中央部のB工区（約12ha）の実施設計の策定のほか、用地購入や物件移転補償、埋蔵文化財発掘調査に向けた環境整備などを実施した。</li> </ul>

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06
新規誘致企業数	求職者が地元で希望する仕事に就くためには新規企業数の増加が求められることから、企業誘致数が指標として適当と考える。	出典：商工労政課 誘致施策に基づき市外から誘致した新規立地企業を把握する。	社	目標値	2.00	3.00	3.00	3.00	3.00	
				実績値	1.00	0.00	0.00	4.00		
操業継続社数	誘致企業の操業継続（操業中及び操業予定）状況を示す指標	出典：商工労政課 誘致企業を対象とし年度末における事業の継続状況を確認。	社	目標値	97.00	92.00	95.00	98.00	101.00	
				実績値	88.00	88.00	87.00	91.00		
				目標値						
				実績値						

### 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>■成果指標「新規誘致企業数」・・・【達成度a】</li> <li>・新規立地の獲得につながるよう企業訪問やアンケート調査等を実施し、各企業が求めるニーズにきめ細やかに対応した結果、新規立地4社（うち支援制度を活用して新規立地した企業は1社）の実績となった。</li> <li>■成果指標「操業継続社数」・・・【達成度b】</li> <li>・令和4年度は、前年度比+4社の91社（上記「新規誘致企業数」の純増数。撤退、廃業はなし）となったものの、設定目標は達成できなかった。</li> </ul> <p>なお、業況確認やフォローアップ（新規企業の場合は折衝）を目的に企業訪問を90社（延べ156回）実施した。</p>

### 4 施策を構成する事務事業の検証

①市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストの割に成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか
なし。
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<input type="radio"/> 企業誘致推進事業費 <ul style="list-style-type: none"> <li>・複雑化、多様化する企業ニーズの情報収集及び動向把握のため、既立地企業や関係団体への訪問を強化する。</li> <li>・自動車や半導体関連の企業などに加え、2024年問題を間近に控える運輸・物流企業に対しても北東北随一の交通ネットワークを有する本市の優位性を市ホームページや専用ホームページ（「花巻市企業立地ガイド」）、企業訪問によりPRする。</li> <li>・市内に企業を誘因するような市独自の優遇制度の検討を継続して行う。</li> <li>・市が整備を進める山の神・実相寺地区への新たな産業団地の供用開始をにらんだ企業誘致活動を展開する。</li> </ul>
新たに取り組むべき事業はないか
なし。

### 5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県南地域への半導体・自動車産業に関連する企業の集積化や2024年問題を控える運輸・物流業の新たな物流・中継設備の整備が見込まれることから、これらの企業のニーズ把握や企業訪問を積極的に展開する必要がある。</li> <li>・市内に整備された工業団地全体の分譲率が令和4年度末時点で96.1%と高い数値となっていることから、新たな企業を呼び込むための一定程度の面積を有する団地整備を早急に行う必要がある。また、市内の平坦地の大半が農業振興地域の農用区域となっていることから、立地企業を特定しない産業団地の整備は極めて困難であるものの、企業へ紹介できる用地が不足している現状を踏まえ、新たな産業団地の整備のほか、民間事業者による産業用地の整備の促進など、市内の産業用地の不足を解消するために官民が連携して取り組む必要がある。</li> </ul>
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体・自動車産業や運輸・物流業を含めた幅広い業種を市内に呼び込むため、市独自を含めた各種優遇制度を活用した誘致活動を継続して進める。</li> <li>・実相寺・山の神地区への新たな産業団地の整備のほか、花巻第2工業団地や花巻第1工業団地テクノパークに残存するの3つの残区画の分譲を進めるとともに、「花巻市民間産業用地整備促進奨励事業補助金」の運用を通じた民間事業者による用地開発を並行して推進し、官民両面による産業団地（用地）の整備の推進を通じ、用地不足の解消と新規企業・既立地企業の市内への設備投資の促進及び本市産業の活性化につなげる。</li> </ul>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	企業誘致推進事業費	企業立地	一致	直結	B
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致活動（企業訪問90社、延べ156回）</li> <li>・企業立地促進奨励事業補助金の交付（増設3件）</li> </ul>				
020	産業団地整備事業費	企業立地	一致	直結	-
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実相寺・山の神地区への新たな産業団地の整備に向けた実施設計や用地交渉（用地購入・移転補償）、環境整備（雑物撤去等）などを実施</li> <li>・当該エリアの地権者や隣接者を対象とした住民説明会の開催</li> </ul>				